

講義科目 : 病理学 (69・68期)	単位数 : 2
担当 : 有馬 寧	学習形態 : 選択科目
	栄養士免許必修科目
	実務経験 : 有

講義の内容・方法および到達目標

生体は、熱や微生物など様々な障害因子によって正常の働きを保てなくなり、病気になります。病理学は、病気の原因を探り、病気によって細胞・組織・器官・生体に起きる変化を明らかにする科学です。本講義の目的は、病気によって生体に起きる変化を学び、栄養・健康科学に必要な病気の基礎的知識を習得することです。

授業計画

- 第1回 病気の内因と外因、生理的老化と病的老化
- 第2回 細胞の障害と修復、変性と細胞死、酸化ストレス
- 第3回 炎症の原因、急性炎症と慢性炎症の病理
- 第4回 免疫・アレルギーの病態と症候、自己免疫と移植免疫
- 第5回 循環器系の病態と症候、充血とうっ血、血栓と梗塞
- 第6回 遺伝子病とその発現、環境因子と栄養
- 第7回 感染症の病原体と予防・治療
- 第8回 腫瘍の形態と分類、腫瘍発生メカニズム
- 第9回 生活習慣病と代謝性疾患
- 第10回 難治性炎症疾患および代謝性疾患
- 第11回 老年症候群：認知症と神経変性疾患
- 第12回 消化器の病態と症候：胃十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病、肝胆膵の疾患
- 第13回 血液の病態と症候：貧血、血液凝固異常、造血器腫瘍
神経系の病態と症候：脳卒中（梗塞・出血）
- 第14回 筋骨格の病態と症候：骨粗鬆症、変形性関節症、関節リウマチ
生殖器の病態と症候：子宮内膜症、子宮がん、卵巣がん、乳がん
- 第15回 皮膚の病態と症候：皮膚の炎症性病変。病理学講義の全体まとめ

教材・テキスト・参考文献等

教科書：はじめの一步の病理学（深山正久編）羊土社 2017年

成績評価方法

定期筆記試験（70％）、平常点（30％）で成績評価を行います。
平常点は出席・授業での質疑応答および講義中に実施する小テストの結果を総合的に評価します。

実務経験

医学部を卒業後、臨床医として内科に勤務した。36年間に渡って各疾患の病理的研究を行っています。講義では臨床経験と病理研究課題を活かし、基本的な病理・病態についてわかりやすく解説します。

その他

教科書には、臨床現場で必要な疾病の知識が臓器別にまとめられておりますので、学習に役立ててください。授業で取り上げなかった疾病、教科書で触れていない疾病については、図書館にある参考書等で学習してください。